

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
【部門区分】第2部門第7区分
【発行日】平成16年11月4日(2004.11.4)

【公表番号】特表2000-506109(P2000-506109A)

【公表日】平成12年5月23日(2000.5.23)

【出願番号】特願平9-532242

【国際特許分類第7版】

B 6 5 H 35/07

B 6 5 H 37/00

// B 4 3 L 19/00

【F I】

B 6 5 H 35/07 D

B 6 5 H 37/00

B 4 3 L 19/00 H

【手続補正書】

【提出日】平成15年12月4日(2003.12.4)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

手続補正書

平成15年12月 4日



特許庁長官殿

1. 事件の表示

平成09年特許願第532242号

2. 補正をする者

氏名(名称) プリット プロダクツィオンスゲゼルシャフト
ミット ベシュレンクテル ハフツング

3. 代理人

住所 〒540-0001
大阪府大阪市中央区城見1丁目3番7号 IMPビル
青山特許事務所
電話 06-6949-1261 FAX 06-6949-0361

氏名 弁理士 (6214) 青山 葆



4. 補正対象書類名 請求の範囲

5. 補正対象項目名 請求の範囲

6. 補正の内容
別紙のとおり。

方 式 審 査



請 求 の 範 囲

1. 搬送テープ（５）を巻き取るスプールのコア（１１）を供給スプールのコア（３）を用いて駆動する歯車の構成であって、

供給スプールは、転写式ディスペンサのハウジング（２）内又は転写式ディスペンサ用の交換カセット（１）内にある巻取スプールに対して、側方に且つオフセットして配置されており、

供給スプールによって駆動する第１の歯車であって、巻取スプールを駆動する第２の歯車に係合し、第２の歯車のピッチ径が第１の歯車のピッチ径より小さいものと、

上記２つのスプールのうち１つのコア（１１）と対応する歯車（２７）の間に設けた摩擦クラッチ（１６）と、

各スプールコア（３、１１）上に配置され半径方向に突き出た環状のディスク（１３、１４）であって、その側部が別のスプールに対向するものとを有し、

２つのスプールコア（３、１１）は、対向して配置される環状ディスク（１３、１４）を介して部分的に互いに接触すること、

上記第１の歯車は、供給スプールのコア（３）の内歯（２８）により形成され、該コア（３）の内部に上記第２の歯車が配置されること、

巻取スプールは、中央の環状スリーブ（２５）を介して、ハウジング又はカセットと一体化した回転軸（１５）に対し回転可能に取り付けられること、

上記環状スリーブ（２５）には、上記第１の歯車と係合し、外側に歯の付いた第２の歯車（２７）を有する横方向に伸びた延長部（２６）が設けられていることを特徴とする歯車の構成。

2. 上記摩擦クラッチ（１６）は、巻取スプールのコア（１１）と回転軸（１５）の間に配置され、中央の環状スリーブ（２５）に外装されていることを特徴とする請求項１の歯車の構成。

3. 上記内歯(28)が供給スプールのコア(3)の内周に一体成形されていることを特徴とする請求項2の歯車の構成。

4. 巻取スプールのコア(11)の直径が少なくとも供給スプールのコア(3)の直径に等しいことを特徴とする請求項1から3のいずれか一の歯車の構成。

5. 上記2つのスプールコア(3、11)の環状ディスク(13、14)の外径が等しいことを特徴とする請求項4の歯車の構成。

6. 上記摩擦クラッチ(16)は、中央の環状スリーブ(25)から放射状に突き出たいくつかのスプリングアーム(19)を有し、

該スプリングアーム(19)は、バイアスを受けながら巻取スプールのコア(11)の内周に当たり該コア(11)を支持することを特徴とする請求項2から5のいずれか一の歯車の構成。

7. 供給スプールのコア(3)は、環状ディスク(13)から遠い方の軸方向の端で、ハウジング(2)又はカセット(1)により軸方向に支持され、

該スプールコアの内周は、第2の歯車(27)と内歯(28)に係合する点とは異なる1つ又はそれ以上の支持点(33)によりハウジング又はカセット内で堅固に支持されることを特徴とする請求項1から6のいずれか一の歯車の構成。

8. 供給スプールのコアが、ハウジング又はカセットに固定された支持部材(33)によって、内歯(28)と第2の歯車(27)に係合する点と半径方向に反対側の点において回転可能に半径方向に支持されることを特徴とする請求項7の歯車の構成。

9. 上記支持部材(33)は、弓型形状であって、ハウジング又はカセットに

固定され、所定の角度以上に伸びていることを特徴とする請求項 8 の歯車の構成。

10. 上記弓型支持部材 (33) が半径方向に供給スプールのコア (3) を約 180 度以上支持することを特徴とする請求項 9 の歯車の構成。

11. 上記支持部材 (33) がハウジング又はカセットの側壁 (1') と一体化形成されていることを特徴とする請求項 8 から 10 のいずれか一の歯車の構成。

12. 巻取スプールの内周を支持するために、摩擦クラッチ (16) は、スプリングアーム (19) に加えて、半径方向に伸びた支持フランジ (17) であって、該フランジ (17) の半径方向の内端で上記スプリングアーム (19) と一体化したものを有することを特徴とする請求項 6 から 11 のいずれか一の歯車の構成。

13. 半径方向に伸びた支持フランジ (17) の自由端には靴状の支持部材 (18) が設けられており、該支持部材 (18) の表面は、巻取スプールのコア (11) の内面形状に合った支持面を有することを特徴とする請求項 12 の歯車の構成。

14. 上記支持部材 (18) から半径方向に突き出たストッパ (20) が上記支持部材 (18) の上記第 2 の歯車から遠い方の軸方向の端に配置され、
上記ストッパ (20) は、巻取スプールのコア (11) の内周に設けた環状肩部 (21) に軸方向に当たることを特徴とする請求項 13 の歯車の構成。

15. 摩擦クラッチ (16)、該摩擦クラッチの横方向に伸びた延長部 (26) 及び上記第 2 の歯車 (27) が 1 つのプラスチックからなることを特徴とする請求項 14 の歯車の構成。

16. ハウジング又はカセットと一体化した回転軸 (15) の周上の少なくとも

も一部にわたって舌状の部材（２９）が設けられており、

該舌状部材（２９）は、回転軸（１５）の軸方向の自由端まで軸方向に伸び、上記舌状部材（２９）の自由端には、半径方向に伸びたストッパ（３１）が設けられており、

該ストッパ（３１）は、組立てられた状態で、環状スリーブ（２５）の半径方向に伸びた端に軸方向に当たり、ハウジング（２）又はカセット（１）に対し回転可能に両スプールを固定することを特徴とする上記請求項のいずれか一の歯車の構成。